

福山市立柳津小学校 学校だより

いほう



2024年(令和6年)3月1日 第13号

〈福山市めざす子ども像〉

福山に愛着と誇りをもち、変化の
激しい社会をたくましく生きる子ども

〈松永中学校区めざす子ども像〉

自己を認識し、自分の人生を選択し、
表現することができる力を身につけた子ども



「してあげる幸せ」

～相手の人に向けた優しい思いやりの行為～て大人になる～

暖冬と思われていた今冬も、寒さと暖かさを交互に繰り返し、一日一日春の訪れを感じるころとなりました。月日の経つのは早いもので、6年生は3月19日の卒業証書授与式をもって小学校課程を修了します。1年生から5年生までは、来る3月25日の修了式をもって、現学年での学びを終え、いよいよ進級・進学の時期を迎えます。子どもたちとともに1年間のまとめを確実に行っていきたいと思っております。

さて、タイトルに「してあげる幸せ」と書きました。人生には三つの幸せがあると言われる。一つめは「してもらう幸せ」です。人は赤ちゃんの時から、何かをしてもらおうと嬉しいという幸せの感覚を持つそうです。二つめは「できるようになる幸せ」です。「逆上がりができる」「勉強がわかるようになる」それは、できなかったことが「できるようになる幸せ」を感じる時です。これは、自己肯定感にもつながる大切な喜びなのです。そして、三つめは「してあげる幸せ」です。「お母さんの手伝いをしてあげる」「困った友だちを助けてあげる」そのことで、両親や友だちが喜び、人が喜ぶ姿や喜んだ顔を見ることで自分も幸せになります。

「してあげる幸せ」を感じるようになると、思いやりの心がますます広がってもっと幸せが深まります。柳津小学校の子どもたちにも「してあげる幸せ」を感じている子どもたちはたくさんいます。褒められることを意識せず、相手の人に向けた優しい思いやりの行為こそ、周囲の人を喜びに包む「してあげる幸せ」なのです。学年の終わりに向けて、「してあげる幸せ」を全員が感じられる学年になってほしい、そして、なることを目指した学校づくりをしていかなければと感じています。

3月19日の卒業証書授与式には、今まで6年生に「してもらった幸せ」を心に感じつつ、在校生全員が感謝の気持ちを持って、卒業式当日、卒業生20名を送ってほしいと思っています。

(文責 校長)

予備のマスクをお願いします

現在、柳津小学校ではコロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症対策はしっかりとしながら、全校児童が集まっての行事や、集団での学習の仕方など、通常の学校生活に戻しつつあります。普段、マスクを付けるかどうか、それぞれのご家庭に判断をしていただいています。ただし、感染拡大が心配されるときには、感染予防対策としてマスクを付けることをお願いすることも考えています。予備のマスクをランドセル等に入れて持たせていただきますようお願いいたします。

善行児童として顕彰されました

2月5日（月）福山市役所で「福山市善行児童生徒顕彰式」がありました。本校6年生の桑田壮埜さんと野島旺将さんが顕彰（功績・善行などをたたえて広く世間に知らせること）されました。二人は、学区内の神社に奉納される神楽の舞手として、放課後や土日に、地区の集会所に集まって地域の人々と練習を積み重ね、秋祭の当日は大人の舞手と一緒に二人とも二つの演目に出演し、練習の成果を発揮しました。そのことが多くの地域の人たちから称賛を受け、今回の顕彰を受けることになりました。卒業後も地域の伝統文化の後継者としてがんばってくれることと思います。



授業参観ありがとうございました

2月16日（金）の今年度最後の授業参観へ多数のご参観、ありがとうございました。学年最後の授業参観ということで、どの学年も一年間の学びで身に付けた力を発表する授業となっていました。合奏や英語劇、ドリームマップの発表など、どの学年も一年間の学びをそれぞれの表現方法で発表していました。何を発表するかということだけでなく、参観してくださっている保護者のみなさんやクラスの友達に伝えるために、話し方を工夫したり！CT機器を使って分かりやすく見せる工夫をしたりなど考え、取り組んでいました。どの学年もたくさんの保護者の前でしっかりと発表することができました。



福山学校元気大賞を受賞しました

2月21日（水）、福山学校元気大賞表彰式がありました。そこで、柳津小を含む松永中学校区（松永中、松永小、柳津小）は、最高の賞である「大賞」をいただきました。『対話を大切にし、「わかった」「できた」と実感する授業づくり、子ども一人一人に心と目を向け、一人の人間として尊重する真摯な教職員の姿が、教科学力や「人の役に立つ人間になりたいと思う」などの非認知能力の向上につながっている。』という理由での受賞です。この受賞をばけみにして、さらに、子どもたちが力をどんどん伸ばしていけるよう、教職員一同、取り組んでまいります。

